

【がん種】 [アミロイドーシス](#)
【レジメン名】 DCyBorD②3～6コース目
【登録番号】 800002
【1コースの期間】 4週間
【投与間隔調整規定】 -1日
【総コース数】 4コースまで(DCyBorD①1～2コース目 終了後から開始し、SD以上の効果が得られた場合には忍容性があればDCyBorD③7コース目～を施行する)
【催吐性リスク】 中等度:エンドキサン、最小度:ダラキューロ、ベルケイド
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性):ベルケイド、ノンビシカント(非壊死性):ダラキューロ
【投与量に制限のある薬剤】 エンドキサン:1回に500mg/bodyまで
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、高血糖、発熱、注入に伴う反応、疲労、傾眠、不眠、間質性肺炎、心不全、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚不全、下痢、便秘、末梢性感覚ニューロパチー、末梢性運動ニューロパチー、脱毛、湿疹、帯状疱疹、注射部位反応、出血性膀胱炎
【必要な検査】 一般採血、間質性肺炎の確認、治療開始前に間接クーモス試験を実施する(最終投与から6か月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため)。
【根拠論文】 N Engl J Med 385:46-58, 2021.
【点滴の時間】 -
【その他】 ダラキューロ:治療開始前に間接クーモス試験を実施する(最終投与から6か月後までは、検査結果が偽陽性になるおそれがあるため)。

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日													
					1	2	...	8	...	15	16	...	22	...	28			
1	アシクロビル錠 200mg	2 錠/回	内服	1日1回朝食後	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	レスタミン錠 10mg アセトアミノフェン錠 200mg デカドロン錠 4mg	5 錠/回 4 錠/回 5 錠/回	内服	1日1回 ダラキューロ投与1時間前	○													
3	ダラキューロ配合皮下注 臍から左 or 右に約7.5cmの腹部	1 本	皮下注	23～25Gの針 3～5分 調製開始から4時間以内に投与終了	○					○								
4	生理食塩液 20mL ベルケイド注射用 調製開始から8時間以内に投与終了	1 A 1.3 mg/m ²	皮下注	2.5mg/mLの濃度に調製 27Gの針 腹部、大腿部	○			○	○				○					
5	カイトリル錠 2mg	1 錠/回	内服	1日1回夕食前	○			○	○				○					
6	エンドキサン錠	300 mg/m ² /日	内服	1日1回夕食後	○			○	○				○					
7	デカドロン錠 4mg	5 錠/回	内服	1日1回朝食後		○				○								
8	デカドロン錠 4mg 朝食後に服用できない場合には可能な限り早い時間に服用	10 錠/回	内服	1日1回朝食後				○						○				